



ギニア共和国

ボーキサイト鉱山切手

P. Q.

ギニア共和国はアフリカ西海岸に位置し 人口約 460 万人 面積 246,000 平方キロ 北緯約 10° でシエラレオネの北にある。旧フランス海外領だったが1958年に独立して共和国となった。この国は農業が中心の産業であり米・キャサバ・トウモロコシが主要で国内の需要を十分に満たしている。近代産業はボーキサイトの産出とその他2~3の国営工場に限られる。しかし西アフリカではギニアほど鉱産資源に恵まれている所はないといわれている。ギニアでは現在全世界で確認されている高純度のボーキサイトの3分の1が存在し 大量の鉄鉱石が埋蔵されており 金・銅・ニッケル・ダイヤモンドなどの鉱石が予想されている。多湿の熱帯性気候のために風化現象がいちぢるしく これが多量のボーキサイトと鉄鉱石の鉱床の成因となっている。

ギニアの地質は片麻岩・片岩・花崗岩からなる先カンブリア界 カンブリア系からデボン系の堆積岩 粗粒玄武岩 かすみ石閃長岩などからなる。

アルミニウムの鉱石として採掘されるのはボーキサイトが主で一部にはかすみ石閃長岩も採掘されている。ボーキサイトは鉱物名ではなく 含水アルミナ鉱物であるギブサイト [gibbsite, $Al(OH)_3$]、ペーマイト [boehmit, $AlO(OH)$] ダイアスポア [diaspore, $AlO(OH)$] の集合からなる鉱石名で風化残

留鉱床に属する。珪酸分の乏しい岩石が熱帯・亜熱帯における風化作用によって生成された鉱床で テラロッサ型とラテライト型とがある。この場合のラテライト型鉱床は原岩中の珪酸分が溶脱しアルミナ分が濃集して生成されたもので 原岩としてアルカリ岩・結晶片岩・堆積岩などがある。

ギニアには11コのボーキサイト鉱床があるが そのうち主要なものは Boke', Fria, Kindia の 3 鉱床である。Boke 鉱床は最大で 平均品位 Al_2O_3 60% 推定埋蔵量10億トンで砂岩・頁岩・シルト岩を原岩とし 13~15mがラテライト化している。

Fria 鉱床は Al_2O_3 44% 鉱量 5 億トンで原岩はシルル系の砂岩及び頁岩とこれを貫く粗粒玄武岩である。

Kindia 鉱床は平均品位 Al_2O_3 52% 推定埋蔵量 2 億トンで原岩は主に先カンブリア系の片岩である。

Boke 事業所で主に操業されており 海岸まで 130km の鉄道が敷かれ 日本も34万ドルの信用供与をした。Fria では 150km の鉄道が敷設されて 1974年当時年間70万トンのアルミナを生産した。

切手は1974年に発行されたもので 高額のものからボーサイトの採掘 (10sy) 鉄道輸送 (6 sy) 積出し (4sy) となっている。